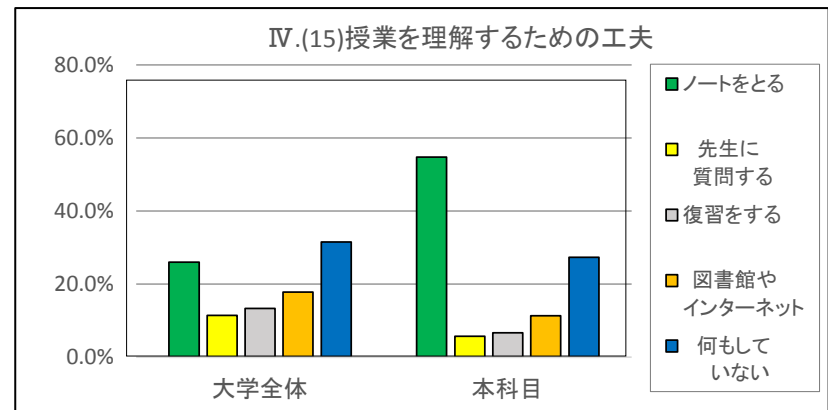


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	54.7%	5.7%	6.6%	11.3%	27.4%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.55	3.45
	I.(2)	3.64	3.56
	I.(3)	3.16	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.09	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.33	3.33
	II.(8)	3.40	3.42
	II.(9)	3.14	3.30
	II.(10)	3.43	3.23
	II.(11)	3.23	3.21
	II.(12)	3.45	3.48
	II.(13)	3.40	3.45
満足度	II.(14)	3.44	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.45	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.31	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.44	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	51103
科目名	キャリアデザインⅡ
教員名	岡野 聡子

①授業計画の達成度について

キャリアデザインⅡでは、職業研究をテーマとして、①様々な職種で活躍する外部講師の話聞き、彼らが社会の中でどのように能力を発揮しているかノートに報告書としてまとめることができる、②自分の身近な就労者に「働くこととは何か」についてインタビューをし、自分なりの「働くこととは」をレポートでまとめることができることを到達目標に掲げ、授業を実施している。学期末におけるレポート課題では、授業における外部講師の話や自身による就労者へのインタビューから、「働くこととは何か」をそれぞれの視点で考察できている、おおむね到達目標は達成したと考えられる。

②授業の進め方について

外部講師を招聘し、講義を実施した。自分の興味関心がある無しに関わらず、社会人として、人の話を聞く姿勢を身に付ける必要があるため、今回の授業では、その訓練の場ともなった。また、講話を聴きながらノートを取り(文章要約力の向上)、そのノートを元に報告書を書く(文章構成力の向上)ことを実施し、本授業を通して、メモを書いてまとめる力は随分と身に付いたと思われる。また、外部講師に質問をする時間を必ず設け、質問する際の最低限のマナーや質問の設定方法について磨く事ができたと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生にとっては、教育業界だけでなく、一般企業や公務員(公安系)に勤務されている方々から話を聞く機会がないに等しい。本授業は、学生にとって、現実的な進路選択をする上で重要な役割を果たしているといえる。また、学生からも大変好評である。各業界から外部講師学生からは、教員志望の学生だからこそ、広い視野を持てるように、今後も多様な業界から外部講師を招聘し、よりよい授業を行いたいと思う。